

平成24年度第2回入札監視委員会の審議概要

開催日時	平成24年11月30日（金）午前9時00分から午前11時30分まで
場所	人吉市役所 3階第1会議室
出席委員氏名	靄山 満 委員長 寺床 住夫 委員 立山まき子 委員 徳澄 静浩 委員 奥村 高史 委員
審議対象期間	平成24年 4月1日～平成24年 9月30日
対象工事件数	49本
抽出審議案件	5本

質 問	回 答
<p>抽出審議工事1：紺屋町地区外污水幹線人孔蓋取替工事</p> <p>(1) マンホール蓋は既製品なのか？</p> <p>(2) 業者がマンホール蓋の積算をする場合はどうやってするのか？</p> <p>(3) マンホール蓋取替えの際に、マンホールの回りを円形で舗装を切り取る場合と、四角形（ます切）で切り取る場合と2種類の方法が設計にあがっているがどうしてか？円形か四角（ます切）かの判断は設計の段階で行うのか？</p> <p>(4) あと2週間で工事が終了するが、進捗率どのように把握しているのか？</p>	<p>報告事項について</p> <p>入札・契約の手続きの運用状況の報告について</p> <p>（事務局から入札・契約事務の経過について説明する。）</p> <p>(1) 既製品です。ノンスリップ型で安全性を重視しており、下からの空気圧等の圧力に対しての浮上防止機能がついております。</p> <p>(2) マンホール蓋は建設物価、積算資料に記載してあるので、それらを使用しています。</p> <p>(3) 円形は道路の舗装がきれいなところで、施工時間も短縮できます。四角（ます切）は道路面に段差があつたり舗装がはがれていたりするところです。 設計時に現場を確認して判断しています。</p> <p>(4) 業者からの報告と現場の確認を行い進捗率を把握しています。現在のところ工期（平成24年12月14日）までに終了予定です。</p>

**抽出審議工事 2 : 上戸越町配水管布設工事
(1工区)**

(1)

設計変更理由で、想定していない暗渠や大型の転石が数ヶ所、管路埋設部にでてきたとあるが、暗渠とは何か？また陥没したのは何ヶ所か？

(2)

以前使用されていた給水管は地域住民がつくっていたのか？

(3)

設計変更理由に切回しとあるが、どういうことか？

**抽出審議工事 3 : 人吉西小学校校舎耐震補強
及び大規模改修工事**

(1)

耐震補強及び大規模改修工事とあるが、その他に電気工事等同時施工する工事もあるのか？

(2)

国の補助はどのくらいですか？

(3)

2階音楽室において、床をはいだところ床モルタルに浮きがみられ設計変更で補修を行うとあるが、事前に調査していれば変更の必要はなかったのでは？

(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)

(1)

暗渠とは、地下に埋設された水を流すための土管や、昔の排水管などです。
5ヶ所あり、大きい石を撤去した際にその空間部分の舗装が陥没しました。

(2)

上水道の給水区域外であったので、地域の方が山水を自分達で維持管理し飲用に利用するために設置したものです。

(3)

曲管を利用して、転石をかわすことです。設計の段階ではわからなかったので、設計変更で管路を切り回し、なるべくまっすぐになるように設計変更しました。

(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)

(1)

電気工事、機械工事があり、別契約となっています。

(2)

国の補助率につきましては、耐震補強が2分の1、大規模改修が3分の1となります。

(3)

当初設計の段階で、事前調査はしていますが、床をはがないとわからない部分であり、事前調査では床をはぐことはできないので、設計変更で対応しました。

抽出審議工事 4 : 人吉市役所庁舎屋上防水改修工事

(1)

設計時に材料代の値上がり等は把握して設計しているのか？

(2)

入札の経緯ですが、最初に2回入札して不落になったので指名替を行い、後日再度入札を行ったが、2回の入札が不落で見積書を提出し随意契約となったということか？

抽出審議工事 5 : 人吉市防災行政無線整備工事

(1)

家庭用の固定電話や携帯電話では受信できないのか？

(2)

7者の入札辞退とあるが辞退の理由は何か？

(3)

設計を業者に委託しているが、設計内容の確認は誰が行うのか？

(4)

入札辞退の理由として、他の工事で忙しくて手が回らないとかあったのか？

(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)

(1)

多少の値上がりはあったみたいですが、設計の際に採用している単価は公共の単価ですので、それとの誤差と考えた結果適正であると考えています。

(2)

そのとおりです。指名替後の入札につきましては、2回目入札でも予定価格に達しなかったため、一旦入札を打ち切り、人吉市工事入札事務処理要領に基づき随意契約をするため、最低の入札価格を提示した業者に対し見積書の提出を求め、その見積額が予定価格に達したので、随意契約を行ったものです。

(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)

(1)

電話回線など、既存の設備は災害時に寸断される可能性があるため、市内全域に無線通信用スピーカーを設置しております。

(2)

入札辞退の理由は問いませんので、確認してはいたませんが、入札前の事前説明会で工期の厳守をお願いしており、機器の製造を含めた工事内容からみると工期が厳しいので、それも原因かもしれません。

(3)

設計内容がわかる監督員(市職員)が行います。

(4)

消防庁からの補助金を元に行う工事であり、全国的に整備が行われていますので、理由のひとつではあるかもしれません。

<p>(5) 補助率はどのくらいか？</p> <p>(6) 今回の工事は、指名競争入札で行われているが、一般競争入札を行う基準はあるか？</p> <p>(7) 設計委託を行った業者はどのように選定しているのか？</p> <p>(8) 今回落札率が85.30%とかなり低いが大手の業者だからなのか？</p>	<p>(5) 概算で1割程度で、残りは起債ですが、交付税で8割程度は返ってきます。</p> <p>(6) 一般競争入札の試行（要項制定済）は行っていますが、今回の工事につきましては工期の時間的制約があり、一般競争入札で行うと時間がかかりますので、指名競争入札で行いました。</p> <p>(7) デジタル防災行政無線の設計実績がある業者を選定し、指名競争入札で決定しました。</p> <p>(8) 自社で機器を製造している業者もいるのでその部分で価格を下げる事ができたと思われれます。</p>
--	--